

熊本県福祉サービス第三者評価結果公表基準（概要版）

1 福祉サービス事業者情報

(1) 事業者概要

| | |
|------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業所名称： (施設名) 報徳保育園 | 種別： 保育所 |
| 代表者氏名： (管理者) 園長 角田 信也 | 開設年月日： 昭和34年1月1日 |
| 設置主体：社会福祉法人 熊本市社会福祉協会 経営主体：社会福祉法人 熊本市社会福祉協会 | 定員：90名 (利用人数) 92名 |
| 所在地：〒860-0082 熊本市西区池田2丁目49-15 | |
| 連絡先電話番号： 096-322-8577 | FAX番号： 096-356-3401 |
| ホームページアドレス | http://www.kumahoikuen.com/houtoku/ |

(2) 基本情報

| サービス内容（事業内容） | 施設の主な行事 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> ・乳児（2か月）から就学前までの保育 ・特別保育事業（延長保育・一時保育（自主事業）） ・地域活動事業（地域交流【七夕飾り・誕生会への敬老会招待、新年祭等地域行事への参加、老人福祉施設の訪問・交流】） ・育児相談・園庭開放 | 進級式 お見知り遠足 幼年消防クラブ編成式 竹の子堀り 芋苗植え 防災センター見学 ホテル鑑賞 保育参観・クラス懇談会 七夕祭り お泊り保育 交通安全指導 人形劇観劇 芋掘り 社会見学(消防署他) クリスマス発表会 節分(豆まき) 安心安全教室 ひな祭り お別れ遠足・テーブルマナー 卒園式（誕生会・避難訓練・身体測定）(毎月)硬筆・体操・科学) 教室（外部講師） |
| 居室概要 | 居室以外の施設設備の概要 |
| 鉄筋コンクリート2階建 乳児室 ほふく室 調乳コーナー 沐浴室 保育室 調理室 食品庫 下処理室 事務室 倉庫 休憩室 トイレ | 園庭 砂場 大型遊具 送迎用駐車場（2か所）倉庫 藤棚 プール |

2 施設・事業所の特徴的な取組

恵まれた自然環境を生かした自然とのふれあい（散歩・草滑り）経験・体験の重視。
外部講師により硬筆教室・体操教室・科学の実験教室
地域の行事（竹の子堀り、夏祭り、文化祭等）への参加・交流

3 評価結果総評

◇特に評価の高い点

1 子どもの自己肯定感が強く感じられます

昭和34年（1959年）の開設以来、20,188名の利用者（令和3年、2021年度末）を輩出している報徳保育園では、子どもが子どもらしさを失わず、集団の中でも安心して活動しています。

園舎は昭和51年に全面増改築され46年経過した鉄筋コンクリート造りの建物で、使い勝手が悪くなっていますが、手洗いなど限られた設備のなかで不便さも認識されつつ、生活ルールを学びながらの保育の場となっています。

2 365度の見晴らしがある

園舎は池田町の丘の上にあるので、東に阿蘇の風車（発電）、熊本城（天守閣）、西に金峰山、雲仙（普賢岳）が見渡せます。眼下には、「カンカンカン」と音を響かせV字峡状の韓々坂を、「くまモン」の菊池電鉄（ラッピング）が行き来しています。二階の3～5歳児の部屋や、一クラス分の広さのある大きな藤棚から四方を展望するとき、だれもが壮大な気分になります。

毎日の散歩など、自然に触れる機会がたくさん設けられています。ふもとから丘の上まで、野山の季節の移ろいを体で感じることができ、野菜や木の実・葉っぱ・虫・風・こだま(声の響き)・石ころなど、自然そのものが教材になっています。

3 就業状況の良さが認められます

職員の平均年齢は40歳に近く、安定した雇用状況にあります。一部意思疎通に欠けるといふ面の声も寄せられましたが、以前見られたパワハラ事例は改善され、QRコードから相談窓口に繋がるような工夫がされており、より相談しやすい体制となって、主体的に自信をもった保育支援につながっています。

4 優れた給食室

2人体制というごく限られた人員の中で、おやつはすべて手作りという、家庭でもなかなか出来ないようなサービスがなされています。十分食することで、標高差50m近くあるふもとの公園から丘の上までを、散歩する力となっています。ハロウィンのケーキカップのイラストも、園児の数だけ前々から手書きされています。

5 射程圏にある新築計画

現在の建物は築後46年の鉄筋コンクリート造りであり、熊本地震には強かったものですが、使い勝手を良くするために4年後を目指した新築計画があります。

現在、必要に応じて改修工事は行なわれており、清掃が隅々まで行き届き、子どもたちが過ごしやすいよう努力されています。

6 法人の有する6施設すべてが第三者評価を受審

熊本市社会福祉協会が運営する3保育園、2就労支援施設、1社会的養護施設のすべての第三者評価を終えられました。公的資金投入施設としての、情報公開に向けた着実な姿勢があります。

◆改善を求められる点

1 理念・方針の言葉にずれが見られます

ホームページ、入園案内、事業計画書、監査資料など媒体によって、「理念・方針を表す言葉」にずれが認められます。社会一般の目から見ればどれが「正式な理念・方針」なのか戸惑うと思われまます。保護者・地域・職員の力を合わせるには、「理念・方針という骨格部分」が揺れないことが望まれます。

令和3年度の事業計画書と事業報告書を対比して見ますと、章立て（目次）が同じ順番になっておらず、保護者の理解を得るには、計画と実施した結果を保護者が一見して理解でき、保護者が全面協力できるような工夫・簡素化が期待されます。

2 駐車場について多くの声が寄せられました

駐車場から園までの道路は交通量が多いので、安全が懸念されます。園直下の5m道路を隔てた5台分ある場所に停めるには、テクニックが必要です。150mほど離れた下の駐車場までは、通行車両に注意を喚起するなどの対策が必要だと思われまます。園からの坂道は、道路への飛び出しや、転倒などの危険も感じまます。

安全面を継続して検討する場も、期待されます。

3 接遇状況の再確認

園と保護者・地域は協力し合って、「子どものいのちと尊厳」を確保し、「本人のやりたい事や自己実現」を推測・支援する立場ですので、アンケート意見での「保護者にイヤな顔を見せて対応」というふうに感じ取られるとすれば、好ましくありません。延長保育・土曜保育の趣旨にのっとった、実際の事例の有無調査や接遇改善が求められます。

4 第三者評価結果に対する事業者のコメント

今回、初めて第三者評価を受審しました。職員、利用者（保護者）の立場から率直なご意見や基準をもとに頂いた評価結果を受け、今後、重点的に取り組む課題等が見えてきました。

中でも保育の質に係わる定期的な保育計画の見直しや保護者アンケートの実施が不十分であることを踏まえ、今後、全職員で取り組んで参ります。また、情報公開についてはホームページやパンフレットの改訂を行い、分かりやすく、かつ、最新の情報発信が出来るように努めます。

法人の理念と保育方針との関係性の明文化については、今後の課題として検討していきます。

ハード面など全てのご要望やご意見に伝えていくのは、難しい面もありますが、皆様の思いを今後の保育園運営に生かしていきたいと思ひまます

最後に厳しいながらも懇切丁寧な対応を頂きました評価者の皆様をはじめ、お忙しい中、アンケートに関わって頂いた保護者の皆様、職員に感謝をいたしまます。

これからの保育を見直す良い機会になりました。

熊本県福祉サービス第三者評価結果公表基準

【保育所版】

◎ 評価機関

| | |
|---------|-----------------|
| 名 称 | NPO法人だれにも音楽祭 |
| 所 在 地 | 上益城郡益城町福富82-203 |
| 評価実施期間 | 令和4年5月1日～11月30日 |
| 評価調査者番号 | ① 17-004号 |
| | ② 13-012号 |
| | ③ 17-001号 |

1 福祉サービス事業者情報

(1) 事業者概要

| | |
|------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業所名称： (施設名) 報 徳 保 育 園 | 種別： 保 育 所 |
| 代表者氏名： (管理者) 園 長 角 田 信 也 | 開設年月日： 昭 和 3 4 年 1 月 1 日 |
| 設置主体：社会福祉法人 熊本市社会福祉協会 経営主体：社会福祉法人 熊本市社会福祉協会 | 定員：90名 (利用人数) 92名 |
| 所在地：〒860-0082 熊本市西区池田2丁目49-15 | |
| 連絡先電話番号： 096-322-8577 | FAX番号： 096-356-3401 |
| ホームページアドレス | http://www.kumahoikuen.com/houtoku/ |

(2) 基本情報

| サービス内容 (事業内容) | 施設の主な行事 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> ・乳児(2か月)から就学前までの保育 ・特別保育事業(延長保育・一時保育(自主事業)) ・地域活動事業(地域交流【七夕飾り・誕生会への敬老会招待、新年祭等地域行事への参加、老人福祉施設の訪問・交流】) ・育児相談・園庭開放 | 進級式 お見知り遠足 幼年消防クラブ編成式 竹の子掘り 芋苗植え 防災センター見学 ホテル鑑賞 保育参観・クラス懇談会 七夕祭り お泊り保育 交通安全指導 人形劇観劇 芋掘り 社会見学(消防署他) クリスマス発表会 節分(豆まき) 安心安全教室 ひな祭り お別れ遠足・テーブルマナー 卒園式 (誕生会・避難訓練・身体測定)(毎月)硬筆・体操・科学 教室(外部講師) |
| 居室概要 | 居室以外の施設設備の概要 |
| 鉄筋コンクリート2階建 乳児室 ほふく室 調乳コーナー 沐浴室 保育室 調理室 食品庫 下処理室 事務室 倉庫 休憩室 トイレ | 園庭 砂場 大型遊具 送迎用駐車場(2か所) 倉庫 藤棚 プール |

職員の配置

| 職 種 | 常 勤 | 非常勤 | 資 格 | 常 勤 | 非常勤 |
|-------|-----|-----|-------|-----|-----|
| 園長 | 1 | | 保育士 | 8 | 10 |
| 主任保育士 | 1 | | 幼稚園教諭 | 6 | 8 |
| 保育士 | 7 | 10 | 栄養士 | | 1 |
| 調理員 | | 2 | 調理師 | | 1 |
| 看護師 | | 1 | 准看護師 | | 1 |
| 合 計 | 9 | 13 | 合 計 | 14 | 21 |

※ 資格の種別は、保健・福祉・医療に関するものを記入してあります。

※ 複数の資格を持ち重複計上している場合があるため、職種と資格の数は必ずしも一致しません。

2 理念・基本方針

RIST＝常に利用者の視点でサービスの向上に努めます。

RI・・・利用者本位（本当に真の最上のサービスを提供します）

S・・・質の向上（最上のサービスを提供するために自己研鑽をします）

T・・・地域密着（地域交流を進めると共にサービスの成果を地域に還元します）

3 施設・事業所の特徴的な取組

恵まれた自然環境を生かした自然とのふれあい（散歩・草滑り）経験・体験の重視。
外部講師により硬筆教室・体操教室・科学の実験教室
地域の行事（竹の子掘り、夏祭り、文化祭等）への参加・交流

4 第三者評価の受審状況

| | |
|---------------|---------------------------------------------------|
| 評価実施期間 | 令和 4 年 5 月 1 日（契約日）～ 令和 4 年 11 月 30 日（評価結果確定日） |
| 受審回数（前回の受審時期） | 回（ 年度） |

5 評価結果総評

◇特に評価の高い点

1 子どもの自己肯定感が強く感じられます

昭和34年（1959年）の開設以来、20,188名の利用者（令和3年、2021年度末）を輩出している報徳保育園では、子どもが子どもらしさを失わず、集団の中でも安心して活動しています。

園舎は昭和51年に全面増改築され46年経過した鉄筋コンクリート造りの建物で、使い勝手が悪くなっていますが、手洗いなど限られた設備のなかで不便さも認識されつつ、生活ルールを学びながらの保育の場となっています。

2 365度の見晴らしがある

園舎は池田町の丘の上にあるので、東に阿蘇の風車（発電）、熊本城（天守閣）、西に金峰山、雲仙（普賢岳）が見渡せます。眼下には、「カンカンカン」と音を響かせV字峡状の韓々坂を、「くまモン」の菊池電鉄（ラッピング）が行き来しています。二階の3～5歳児の部屋や、一クラス分の広さのある大きな藤棚から四方を展望するとき、だれもが壮大な気分になります。

毎日の散歩など、自然に触れる機会がたくさん設けられています。ふもとから丘の上まで、野山の季節の移ろいを体で感じることができ、野菜や木の実・葉っぱ・虫・風・こだま(声の響き)・石ころなど、自然そのものが教材になっています。

3 就業状況の良さが認められます

職員の平均年齢は40歳に近く、安定した雇用状況にあります。一部意思疎通に欠けるといふ面の声も寄せられましたが、以前見られたパワハラ事例は改善され、QRコードから相談窓口につながるような工夫がされており、より相談しやすい体制となって、主体的に自信をもった保育支援につながっています。

4 優れた給食室

2人体制というごく限られた人員の中で、おやつはすべて手作りという、家庭でもなかなか出来ないようなサービスがなされています。十分食べることで、標高差50m近くあるふもとの公園から丘の上までを、散歩する力となっています。ハロウィンのケーキカップのイラストも、園児の数だけ前々から手書きされています。

5 射程圏にある新築計画

現在の建物は築後46年の鉄筋コンクリート造りであり、熊本地震には強かったものですが、使い勝手を良くするために4年後を目指した新築計画があります。

現在、必要に応じて改修工事は行なわれており、清掃が隅々まで行き届き、子どもたちが過ごしやすいよう努力されています。

6 法人の有する6施設すべてが第三者評価を受審

熊本市社会福祉協会が運営する3保育園、2就労支援施設、1社会的養護施設のすべての第三者評価を終えられました。公的資金投入施設としての、情報公開に向けた着実な姿勢があります。

◆改善を求められる点

1 理念・方針の言葉にずれが見られます

ホームページ、入園案内、事業計画書、監査資料など媒体によって、「理念・方針を表す言葉」にずれが認められます。社会一般の目から見ればどれが「正式な理念・方針」なのか戸惑うと思われれます。保護者・地域・職員の力を合わせるには、「理念・方針という骨格部分」が揺れないことが望まれます。

令和3年度の事業計画書と事業報告書を対比して見ますと、章立て（目次）が同じ順番になっておらず、保護者の理解を得るには、計画と実施した結果を保護者が一見して理解でき、保護者が全面協力できるような工夫・簡素化が期待されます。

2 駐車場について多くの声が寄せられました

駐車場から園までの道路は交通量が多いので、安全が懸念されます。園直下の5m道路を隔てた5台分ある場所に停めるには、テクニックが必要です。150mほど離れた下の駐車場までは、通行車両に注意を喚起するなどの対策が必要だと思われれます。園からの坂道は、道路への飛び出しや、転倒などの危険も感じます。

安全面を継続して検討する場も、期待されます。

3 接遇状況の再確認

園と保護者・地域は協力し合って、「子どものいのちと尊厳」を確保し、「本人のやりたい事や自己実現」を推測・支援する立場ですので、アンケート意見での「保護者にイヤな顔を見せて対応」というふうに感じ取られるとすれば、好ましくありません。延長保育・土曜保育の趣旨にのっとった、実際の事例の有無調査や接遇改善が求められます。

6 第三者評価結果に対する事業者のコメント

今回、初めて第三者評価を受審しました。職員、利用者（保護者）の立場から率直なご意見や基準をもとに頂いた評価結果を受け、今後、重点的に取り組む課題等が見えてきました。

中でも保育の質に係わる定期的な保育計画の見直しや保護者アンケートの実施が不十分であることを踏まえ、今後、全職員で取り組んで参ります。また、情報公開についてはホームページやパンフレットの改訂を行い、分かりやすく、かつ、最新の情報発信が出来るように努めます。

法人の理念と保育方針との関係性の明文化については、今後の課題として検討していきます。

ハード面など全てのご要望やご意見に伝えていくのは、難しい面もありますが、皆様の思いを今後の保育園運営に生かしていきたいと思えます。

最後に厳しいながらも懇切丁寧な対応を頂きました評価者の皆様をはじめ、お忙しい中、アンケートに関わって頂いた保護者の皆様、職員に感謝をいたします。

これからの保育を見直す良い機会になりました。

7 第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。

(参考) 利用者調査の手法等

| 調査の手法 | 対象者 | 対象数(人) | 基準数に満たない場合の理由 |
|---------|--------|--------|---------------|
| アンケート調査 | 利用者本人 | 70 | |
| | 家族・保護者 | | |
| 聞き取り調査 | 利用者本人 | | |
| | 家族・保護者 | | |
| 観察調査 | 利用者本人 | | |

第三者評価結果

※すべての評価細目について、判断基準（a・b・cの3段階）に基づいた評価結果を表示する。
 ※評価細目毎に第三者評価機関の判定理由等のコメントを記述する。

〈共通評価基準〉

I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

| | | |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------|---------|
| | | 第三者評価結果 |
| I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。 | | |
| 1 | I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。 | a・b・c |
| <p>〈コメント〉</p> <p>ホームページ、入園案内、監査資料など媒体によって、「理念・方針を表す言葉」に少しずれが認められます。社会一般の目から見ればどれが正式な理念・方針なのか戸惑うかもしれません。保護者・地域・職員の力を合わせるには、「理念・方針という骨格部分」が揺れずに、共通理解できることが大切と思われまます。</p> | | |

I-2 経営状況の把握

| | | |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------|---------|
| | | 第三者評価結果 |
| I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。 | | |
| 2 | I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。 | a・b・c |
| <p>〈コメント〉</p> <p>管理者は保育連盟の研修会だけでなく、校区の人口動態情報を独自に収集し、未満児の数や出生率を把握しています。</p> <p>それらを踏まえた中長期計画があり、5年後の園舎立替をめざし、財務計画を立てています。</p> | | |
| 3 | I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。 | a・b・c |
| <p>〈コメント〉</p> <p>毎月1回開かれる法人内施設長会議で、園舎立替・人材確保・定員充足等について現状報告され、支出の抑制策等が検討されています。</p> <p>その結果は、毎週あっている園の職員会議で報告しています。</p> | | |

I-3 事業計画の策定

| | | |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------|---------|
| | | 第三者評価結果 |
| I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。 | | |
| 4 | I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。 | a・b・c |
| <p>〈コメント〉</p> <p>中長期計画・保育計画自体は、法人内施設長会議・保育所保育指針を踏まえた内容で立てられています。</p> <p>資金積立計画が、経営環境の把握・職員構成の変化等を踏まえた内容で策定されています。</p> | | |

| | | |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|----------------|
| 5 | I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。 | a・ b ・c |
| <p><コメント></p> <p>年度ごとの具体的な到達目標は、保育計画・保護者支援・地域支援・組織整備・人事考課・就業状況改善という形で表されています。</p> <p>保育計画は、保育所保育指針を踏まえた形ですが、「保育の目標」・「保育の方法」・「保育の環境」についての記述は包括的であり、より具体的に例を示し記述して頂ければ、地域の方々にもっと分かりやすいかと思われます。その実施結果が事業報告書に反映され、「保育園が毎日どういう保育支援をしているか」の情報公開につながると考えられます。</p> | | |
| I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。 | | |
| 6 | I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。 | a・ b ・c |
| <p><コメント></p> <p>事業計画の総合的成果としての行事の評価は、年末から年明けにかけて行われ、事業報告書に詳しく記載されています。しかしながら、事業計画書と事業報告書に、それぞれ記載の項目・順番が対応していないように見えます。</p> | | |
| 7 | I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。 | a ・b・c |
| <p><コメント></p> <p>事業計画は、3月末あるいは卒業式後にもれなく周知されています。行事計画の詳細はネットアプリを使い周知し、既読チェックも表示されます。</p> | | |

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

| | | |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|----------------|
| | | 第三者評価結果 |
| I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。 | | |
| 8 | I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。 | a・ b ・c |
| <p><コメント></p> <p>「質の向上」つまりは「支援の向上」は話し合いのなかで、玩具の買い替え等がテーマになることもあります。組織としての自己評価は毎年10月頃に行われています。行事や日常の保育内容については、毎週末の会議で行事内容や改善点を出し合い全職員で共有しています。行事の後は、朝夕の送迎時等に保護者から話を聞いています。</p> <p>第三者評価は、今回が初めてです。</p> | | |
| 9 | I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。 | a ・b・c |
| <p><コメント></p> <p>未満児のパジャマに着替える時期・箸を始める時期は、一斉にではなく個別に行われています。</p> <p>要望に基づき、おむつの園での処理・布団のリースが可能になりました。</p> | | |

II 組織の運営管理

II-1 管理者の責任とリーダーシップ

| | |
|--|---------|
| | 第三者評価結果 |
|--|---------|

| | | |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------|-------|
| | | 果 |
| Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。 | | |
| 10 | Ⅱ-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。 | ㉠・b・c |
| <コメント> 経営管理運営の方針と取り組みを説明し、職務分担表も年度初めに配布しています。園長、主任保育士不在の職務権限移譲の周知をしています。 有事における役割と責任については、一覧表を各クラスにも掲示しています。 | | |
| 11 | Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。 | ㉠・b・c |
| <コメント> 法令順守の規定は法人の管理規定の中で規定し、就業規則の中で懲戒規定を設けています。 いわゆるパワハラ防止法については、事前周知をし、相談窓口は法人本部となっています。 | | |
| Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。 | | |
| 12 | Ⅱ-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。 | ㉠・b・c |
| <コメント> 毎月の職員会議や12月の個人面談により、課題・解決方法を出し合い担当者決めを行っています。 個々の職員が、法人の代表者である会長と直接話し合う時間が確保されていて、全ての情報を把握する仕組みとなっています。 | | |
| 13 | Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。 | ㉠・b・c |
| <コメント> 働きやすい環境とするために、正規職員のうち日給制となっていた半数近い人を、月給制にしました。(非常勤職員は日給制) 産前産後・育児休暇が出た場合は、他の職員・派遣社員を充てます。 それまで手書きだったクラスだより・園だより・園新聞の作成をICT化し、アプリで保護者に配信しています。 | | |

Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

| | | |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------|---------|
| | | 第三者評価結果 |
| Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。 | | |
| 14 | Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。 | ㉠・b・c |
| <コメント> 毎年5~6名の実習生に丁寧なオリエンテーション・実習日誌の記入要領を通じて、充実した実習となるように努め、その結果が採用に結び付いています。 一般的な方法で、養成校・職安・福祉人材センター・保育市連のホームページにも告知しています。 | | |
| 15 | Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。 | ㉠・b・c |
| <コメント> 勤務、異動、配置、クラス管理等人事に関する基準は、職務内容比較表で示されてい | | |

| | | |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|-------|
| ます。人事評価は、法人で統一されています。 | | |
| Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。 | | |
| 16 | Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。 | Ⓐ・b・c |
| <p><コメント></p> <p>年1回20分程度の個人面談により、就業状況・意見を話合っています。把握された意見・意向は、主任と分析検討しています。</p> <p>仕事の持ち帰りはありません。</p> <p>健康診断・予防接種を負担し、福利厚生のためのソエルクラブ会費も負担しています。</p> <p>施設長に伝えにくい意見は、法人代表者に直接話せる機会を設けています。</p> | | |
| Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。 | | |
| 17 | Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。 | Ⓐ・b・c |
| <p><コメント></p> <p>法人独自の自己評価様式で、年1回a・b・cで評価するようになっています。</p> <p>キャリアアップ研修一覧があり、研修参加計画が立てられています。</p> | | |
| 18 | Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。 | Ⓐ・b・c |
| <p><コメント></p> <p>キャリアアップ研修等、計画的に実施されています。</p> <p>階層別研修は、法人本部で行われています。</p> | | |
| 19 | Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。 | Ⓐ・b・c |
| <p><コメント></p> <p>キャリアアップ研修自体長時間を必要として、処遇改善加算の種類によりは対象人員数が限定されていますが、他の処遇改善手当は全職員が対象となっています。研修は受講履歴と本人の希望を重視し派遣しています。部署により、専門研修参加が少ない職員もいます。</p> <p>研修参加報告書を回覧し、成果を共有しています。</p> | | |
| Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。 | | |
| 20 | Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。 | Ⓐ・b・c |
| <p><コメント></p> <p>「保育実習オリエンテーション」という基本マニュアルがあります。カリキュラムは養成校により違った内容になっています。</p> <p>養成校との会議により連携を維持し、有効な人材確保につながっています。</p> | | |

Ⅱ-3 運営の透明性の確保

| | | |
|----------------------------------|--------------------------------------|---------|
| | | 第三者評価結果 |
| Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。 | | |
| 21 | Ⅱ-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。 | a・Ⓑ・c |

| | | |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------|-------|
| <p><コメント> 事業計画・事業報告を確認するには、「法人ホームページ」⇒「現況報告」と入って行きますが、最新情報に更新されていません。 苦情・相談の有無・内容は、理事会で共有されていますが一般公表はありません。 電鉄・銀行・公民館に「報徳保育園新聞」を掲示して頂き、情報提供に努めています。</p> | | |
| 22 | Ⅱ-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。 | a・㉑・c |
| <p><コメント> 保育所評価基準でいう「外部の専門家による監査支援等」は、行われていません。 内部監査は年2回法人より来園し、行われています。 基本的に経理業務は税理士事務所の関与のもとに、法人本部で行われています。</p> | | |

Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献

| | | |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------|---------|
| | | 第三者評価結果 |
| Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。 | | |
| 23 | Ⅱ-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。 | ㉑・b・c |
| <p><コメント> 地域とのかかわり方については、令和3年度事業計画書に「家庭、地域との連携」という章を設け、7つの取組が「地域に根差した保育園をめざす」という姿勢で、示されています。 コロナ禍3年目でも、出来る範囲で実施されています。 夏祭りに職員が参加する場合は、超過勤務あるいは振替休日とすることで、交流を促進しています。</p> | | |
| 24 | Ⅱ-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。 | ㉑・b・c |
| <p><コメント> 基本姿勢は文章化されていませんが、「実習マニュアル」を準用しています。 受入れに際しては、事前に本人の希望日、時間帯、内容を聞き取り、園からは内容、個人情報等の取扱などの注意事項、準備品を書類で伝えています。また、ナイストライやインターンシップ（支援学校含む）も積極的に受け入れています。</p> | | |
| Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。 | | |
| 25 | Ⅱ-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。 | ㉑・b・c |
| <p><コメント> 「要保護児童対策地域協議会」に対して、毎月1回情報提供を行っています。 校区の「子育て支援ネットワーク」があり参加しています。 防災緊急関係機関連絡先一覧があります。</p> | | |
| Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。 | | |
| 26 | Ⅱ-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。 | ㉑・b・c |
| <p><コメント> 自治会・民生委員会・老人会と交流をもって、ニーズ把握に努めています。 校区の子供会に園として参加し、ニーズ把握に努めています。</p> | | |

| | | |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------|-------|
| 27 | Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。 | ㉑・b・c |
| <p><コメント> 緊急避難所としてあるいは園庭解放の場として、役割を果たしています。 被災時における救急用品・緊急食糧は、準備されています。 地域活動として年中・年長の子ども30人が、園から公園までの清掃をしています。 法人として生活困窮者支援（食糧支援・アパート借用支援）を行っています。</p> | | |

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

| | | |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------|---------|
| | | 第三者評価結果 |
| Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。 | | |
| 28 | Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。 | ㉑・b・c |
| <p><コメント> 全国保育士会倫理綱領をもとに、共通認識を深めています。 子ども同士ケンカした場合には、「〇〇ちゃんどうしたの?」と、お互いに状況を理解してもらい、「話をちゃんと聞けた」という形で、冷静さを取り戻すよう促しています。</p> | | |
| 29 | Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われている。 | ㉑・b・c |
| <p><コメント> プールについては、着替えが見えないようにカーテンで仕切っています。 園日より等で使用する写真は、保護者の同意を得て掲載し、氏名を記入しないように注意しています。</p> | | |
| Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。 | | |
| 30 | Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。 | a・㉑・c |
| <p><コメント> 見学希望者は随時受け入れており、「園のしおり」及びパンフレットを配布して園の方針や保育内容等を説明しています。園の情報に関しては、わかりやすい内容ではないとの意見もあり、外国籍の方の利用も増えていますので、よりわかりやすい情報の提供のために、パンフレットの内容やホームページの更なる充実が望まれます。</p> | | |
| 31 | Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。 | ㉑・b・c |
| <p><コメント> 保育の開始に関しては、「園のしおり」等を用いて詳しく説明をして保護者の同意を得ています。外国籍の保護者の場合は、通訳ができる方に同席してもらうなどして理解を深めています。保育の変更時には、保護者の同意とその内容を書面で残しています。</p> | | |
| 32 | Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。 | a・㉑・c |
| <p><コメント> 転園の際は、移行先の園に「保育要録」を送付し保育の継続性に配慮しています。今</p> | | |

| | | |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------|-------|
| <p>後、転園に当たっての引継ぎや送りの手順等についても作成されることが望まれます。</p> <p>また、退園後もいつでも相談できることを口頭では伝えていますが、相談窓口等について文書で渡しておくとともにさらに良いと思われれます。</p> | | |
| <p>Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上昇に努めている。</p> | | |
| 33 | Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。 | a・㉔・c |
| <p><コメント></p> <p>毎日の送迎時の保護者との会話のやり取りや連絡帳で子どもや保護者の満足度を把握する努力をされています。今後は、定期的に保護者アンケートを実施し、その結果を分析して全職員にフィードバックできるような取り組みが望まれます。</p> | | |
| <p>Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。</p> | | |
| 34 | Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。 | a・㉔・c |
| <p><コメント></p> <p>保育園の玄関に意見箱を設置し、苦情解決責任者・受付担当者・第三者委員を定めて「重要事項説明書」に記載し、仕組みについてのポスターが掲示されています。苦情内容について受付と解決を図った記録簿が作成されていますが、整備が十分でないので「苦情解決マニュアル」に従い、受付担当者は苦情全てを記録し園長に報告、さらにその内容と改善策等について公表することが望まれます。</p> | | |
| 35 | Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。 | a・㉔・c |
| <p><コメント></p> <p>保護者が自由に意見を述べやすいような努力の様子はいかがですが、要望や意見が気軽に言えるとした保護者は半数以下であり、声がかげにくいとの意見もありました。また、意見箱を玄関に設置していますが、まだ一通も投函されていませんので、意見箱の大きさや設置場所の検討と苦情処理制度について保護者への周知が望まれます。</p> | | |
| 36 | Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。 | a・㉔・c |
| <p><コメント></p> <p>個別の相談の時は、職員が連携を取り、主任・園長に話を継ぎ、相談室で対応しています。午睡用布団について保護者から「リース」の提案があった際には、保護者会で話し合った結果、リースを利用することになり、保護者からは「助かっています」との声がかけられました。今後は対応マニュアル等の定期的な見直しが望まれます。</p> | | |
| <p>Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。</p> | | |
| 37 | Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。 | a・㉔・c |
| <p><コメント></p> <p>リスクマネジメントに関する委員会が設置され、「事故防止マニュアル」を作成して事故発生時の手順を各教室に掲示するなどして職員への周知を図っています。また、園内においてAED講習やさすまた操作についての研修が行われています。しかし、駐車場から園までの道のりにおいて、道幅が狭い・交通量が多い・坂道等による危険性が感じられますので、事故防止についての対策が望まれます。</p> | | |
| 38 | Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。 | a・㉔・c |

| | | |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------|----------------|
| <p><コメント></p> <p>感染症が発生した時は、ホワイトボードに感染症発生状況を掲示し、保護者に情報を提供して感染拡大防止に努めています。コロナ感染症では、ネットを活用するなどして情報の共有に努めました。また、トイレの手洗い場にはポンプ式の洗浄液とペーパータオルを準備し、手洗いの励行に努めています。感染症の予防と発生時等の対応マニュアルの定期的な見直しが望まれます。</p> | | |
| 39 | Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。 | a・ ⑥ ・c |
| <p><コメント></p> <p>災害時の対応体制が決められており、子ども・保護者及び職員の安否確認の方法が決められ全ての職員に周知されています。災害時には子どもの安全を確保することが求められますので、定期的な訓練等の事前の対策が必要だと思われます。また、食料や備品類等の備蓄リストを作成し、その際アレルギーのある子どもへの対応に関する視点も大切です。</p> | | |

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

| | | |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------|----------------|
| | | 第三者評価結果 |
| Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。 | | |
| 40 | Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。 | a・ ⑥ ・c |
| <p><コメント></p> <p>標準的な実施方法が文書化されており、個々の子どもの個別性に配慮した保育が実践されていますが、職員の自己評価によると画一的になっている部分があるという反省の声も聞かれます。今後は、より個別的な実施方法の作成やプライバシーの保護や権利擁護に関わる姿勢についてのマニュアルの作成が望まれます。</p> | | |
| 41 | Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。 | a・ ⑥ ・c |
| <p><コメント></p> <p>必要が生じた場合に、その都度職員会議で検討し見直されています。定期的な見直しを行うとともに、改定日と改訂内容がわかるよう記載しておくことが期待されます。</p> | | |
| Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。 | | |
| 42 | Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に作成している。 | ⑦ ・b・c |
| <p><コメント></p> <p>入園申請時に保護者に家族構成や生活状況・身体状況等を記載してもらうとともに、入園前に個別面接を行い、様式を決めてアレルギー等についての聞き取りが行われています。アセスメントの内容に基づいて子どもの特性や保護者の意向を取り入れ、クラス担任が個別の指導計画を作成し、園長・主任が確認して完成しています。</p> | | |
| 43 | Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。 | a・ ⑥ ・c |
| <p><コメント></p> <p>指導計画の実施状況の評価・見直しは必要に応じてその都度行われています。しかし、計画の評価・見直しに関して協議をした会議録が見られなかったので、会議開催等の手順を定めて評価・見直しを行うことが望まれます。</p> | | |
| Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。 | | |

| | | |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------|-------|
| 44 | Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化している。 | ㉑・b・c |
| <p><コメント></p> <p>保育の実施状況に関して、全園児についての個人記録が作成され、整備に努められています。毎週職員会議を開催して情報共有がなされていますが、PCを各教室に配備して園内で情報を共有する仕組みの整備が進められています。</p> | | |
| 45 | Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。 | ㉑・b・c |
| <p><コメント></p> <p>個人情報管理規程を整備し、紙媒体の記録から電子データへの移行が徐々に進められています。園内研修で「個人情報保護」について研修が行われています。個人情報の取扱については「重要事項説明書」に記載し、入園説明会で保護者に説明されています。</p> | | |

<内容評価基準>

A-1 保育内容

| | | 第三者評価結果 |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|---------|
| A-1-(1) 全体的な計画の作成 | | |
| A① | A-1-(1)-① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を作成している。 | ㉑・b・c |
| <p><コメント></p> <p>「4つの子どもの姿」を保育目標に、子どもの発達や家庭・地域の実態を考慮し、主任保育士がクラス担任の意見等を取り入れて原案を策定し、園長が確認して編成されています。</p> | | |
| A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開 | | |
| A② | A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。 | a・㉑・c |
| <p><コメント></p> <p>園庭に藤棚があり涼しい木陰がつくられる環境となっていますが、午後になると雀が集まってきており衛生面が懸念されます。築年数が経った園舎を修繕しながら工夫して使用されている様子が随所にうかがえました。</p> | | |
| A③ | A-1-(2)-② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。 | ㉑・b・c |
| <p><コメント></p> <p>子どもの発達過程や家庭環境の情報、送迎児の保護者との会話や連絡帳で得られる日々の情報等を職員間で共有し、一人一人に応じた保育となるよう努めています。一人一人の子どもの成長のきめ細かな指導記録が確認できました。</p> | | |
| A④ | A-1-(2)-③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることのできる環境の整備、援助を行っている。 | ㉑・b・c |
| <p><コメント></p> <p>子どもが自分でやろうとする気持ちを大切にしながら援助が行われています。2歳児以上は自分で給食の配膳を行い、食べる量について「ちょっと減らして下さい」や「たくさん食べます」など気持ちを伝える様子を観察することができました。「5つの生活習慣」については、各クラスの年齢に応じた毎日のプログラムの中の様々な場面に組み込まれており、自然な過ごし方の中から基本的な生活習慣を身につけている様子を観察す</p> | | |

| | | |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|-------|
| ることができました。 | | |
| A⑤ | A-1-(2)-④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。 | ㉑・b・c |
| <p><コメント></p> <p>園庭には大型遊具や砂場が設置され、夏にはベランダでプール遊びができます。室内ではキッチンコーナーやブロック・音楽遊びなど多様な遊びの機会が保障され、子どもが思い思いの遊びに興じることができるようになっていきます。また、身近な自然とのふれあいを大切に、地域の人たちと接する機会も設けられています。</p> | | |
| A⑥ | A-1-(2)-⑤ 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。 | ㉑・b・c |
| <p><コメント></p> <p>登園時はしっかりと抱いて受け入れ、保護者との会話や連絡帳で子どもの状態を把握し、職員間で共有されています。また、看護師が乳児保育に携わっていることは、保護者の安心感に繋がっているようです。</p> | | |
| A⑦ | A-1-(2)-⑥ 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。 | ㉑・b・c |
| <p><コメント></p> <p>活動の場面によってグループの編成を月齢ごとや縦割りにして工夫しています。子ども同士で助け合う場面を職員が見守る姿がありました。また、自然環境を活かして散歩を多く取り入れ、草花や虫を観察して季節の移り変わりを感じる、神社を通して地域の文化にふれる、地域のお年寄りと言葉を交わすなどが日常生活の中で体験できています。朝、昼、夕方の検温が実施され、きめの細かい園児の健康管理が心がけられています。</p> | | |
| A⑧ | A-1-(2)-⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。 | ㉑・b・c |
| <p><コメント></p> <p>年間・月間・週指導計画を基に、養護と教育の一体的な取り組みが図られています。5歳児クラスでは専任講師による硬筆教室や体操教室、科学体験が行われています。また、運動会でのフラッグ隊や発表会での劇や合奏の活動を通して、友達とともに楽しみながら一つのことをやり遂げる体験ができており、保育士による子ども一人一人の力に応じた支援がなされています。</p> | | |
| A⑨ | A-1-(2)-⑧ 障がいのある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。 | ㉑・b・c |
| <p><コメント></p> <p>散歩の時、歩行の発達が遅滞している子どもを職員がおんぶ紐で背負って他児と一緒に公園までの散歩に参加していました。途中で柿や蝶を見つけて喜び、公園では他児と一っしょにシャボン玉を追いかけて楽しむ様子がありました。</p> | | |
| A⑩ | A-1-(2)-⑨ それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。 | ㉑・b・c |
| <p><コメント></p> <p>7時から18時までの11時間が通常保育時間として設定されています。お迎えの遅い園児は、少人数になってから異年齢児一緒に保育室で絵本などを読んでゆっくりすごしています。早出・遅出の保育士が対応しており、担任からの引継ぎをしっかりと行い保護</p> | | |

| | | |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------|-------|
| 者との連携を図っています。 | | |
| A⑪ | A-1-(2)-⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づき、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。 | ㉑・b・c |
| <p><コメント></p> <p>年長児は、体験入学として学校訪問を行い、小学校生活に興味を持てるよう配慮しています。小学校からは授業参観や運動会、学習発表会などの案内が園に送られ、主任や保育士が参加しています。保育所児童保育要録を作成し就学先の小学校に提出しています。</p> | | |
| A-1-(3) 健康管理 | | |
| A⑫ | A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。 | ㉑・b・c |
| <p><コメント></p> <p>健康管理に関するマニュアルが作成されています。毎朝、登園時に保育士による視診及び連絡帳や保護者との会話で子どもの体調や状態について情報を得、職員間で共有して保育に当たっています。乳幼児突然死症候群(SIDS)を予防するため、0歳児は5分おきの睡眠チェックが実施されています。</p> | | |
| A⑬ | A-1-(3)-② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。 | ㉑・b・c |
| <p><コメント></p> <p>健康診断は年2回、歯科検診は年1回実施された上で、結果は保護者に報告し、職員も共有しています。健康診断記録も整備保管され、年間の健康支援計画にも反映されています。また、毎月のクラスだよりで、季節毎の体調管理について情報を発信し、保育にも反映されるようにしています。</p> | | |
| A⑭ | A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け、適切な対応を行っている。 | ㉑・b・c |
| <p><コメント></p> <p>入園時に、アレルギーに関する調査表を提出してもらい、アレルギー疾患などの把握に努めています。除去食が必要な場合は除去食依頼書の提出が保護者に求められ、解除の際も申請書提出が必要とされています。宗教等により食材の制限が必要な子どもについても同様に対応されています。また、アレルギー疾患、慢性疾患や具体的な対応等について研修に参加し、研修報告書を回覧して必要な知識・情報の共有に努めています。</p> | | |
| A-1-(4) 食事 | | |
| A⑮ | A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。 | ㉑・b・c |
| <p><コメント></p> <p>落ち着いた雰囲気ですべての食事を摂ることができています。</p> <p>収穫した野菜でカレーを作る、筍やトウモロコシの皮むきをして野菜にふれる、切り身ではなく丸ごと一匹の魚を料理する等の機会を設け、食について関心をもてるよう工夫しています。保育参観の時に試食会を行い、給食に関する質問に答える時間を設けています。</p> <p>また、紙コップに子どもの好きな絵や文字を描いたり野菜を型抜きしたりして行事の雰囲気作りをする、卵・牛乳・小麦粉抜きのケーキを手作りしてアレルギーの子どもが同じ食事を一緒に楽しめるようにするなどの工夫と配慮がなされていました。</p> <p>毎日の食事内容が玄関に展示され、毎月給食だよりと献立が保護者に配布されています。</p> | | |

| | | |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------|-------|
| A⑯ | A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。 | a・b・c |
| <p><コメント> コロナ禍のもと、食べる前の手洗い消毒を通じて清潔さを保つことがより一層徹底されています。除去食を提供する際は、当該児分は厨房から一人分の食事をトレーごとラップしてクラスに届けられ、偶発的な事故防止に努められています。衛生管理マニュアルも整備されており、衛生管理が適切に行われています。</p> | | |

A-2 子育て支援

| | | |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------|---------|
| | | 第三者評価結果 |
| A-2-(1) 家庭との緊密な連携 | | |
| A⑰ | A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。 | a・b・c |
| <p><コメント> 送迎時の保護者との会話や連絡帳を通して、子どもの様子や変化、成長等について日常的に情報交換を行っています。園だより・クラスだより・給食だよりを定期的に発行して園での生活の様子を報告しています。手書きやパソコンで作成し、イラストや写真を掲載するなど職員の創意工夫にあふれた暖かさを感じるお便りとなっています。保育内容に変更があるときは、文書にて説明し理解を得るよう図っています。</p> | | |
| A-2-(2) 保護者等の支援 | | |
| A⑱ | A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。 | a・b・c |
| <p><コメント> クラスが違っていても職員が名前を覚えていてくれて笑顔で挨拶をしてくれるとの保護者の声も聞かれ、信頼関係を築く努力がなされています。また、個別の相談にも対応できる体制が整っていますが、保護者への周知が不十分のようです。今後は、相談内容を適切に記録し職員間で情報共有できるような取り組みが望まれます。</p> | | |
| A⑲ | A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。 | a・b・c |
| <p><コメント> 園内で「子どもの虐待防止の援助に関する基本事項」の研修を行い、持ち物や、服装、身体の傷など虐待の疑いがないか、きめ細やかな注意を払い見守っています。今後、早期発見、早期対応のための独自の「虐待防止対応マニュアル」の整備が求められます。</p> | | |

A-3 保育の質の向上

| | | |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|---------|
| | | 第三者評価結果 |
| A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価） | | |
| A⑳ | A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。 | a・b・c |
| <p><コメント> 週1回の職員会議や必要に応じて保育の振り返りが実施されています。今後、保育士自らの保育実践と子どもの育ちを振り返るための定期的な自己評価を実施し、それに基づいた保育の改善や専門性の向上に繋がるような仕組み作りが求められます。</p> | | |

(参考)

| | 第三者評価結果 | | |
|-----------------|---------|----|---|
| | a | b | c |
| 共通評価基準（評価対象Ⅰ～Ⅲ） | 27 | 18 | |
| 内容評価基準（評価対象A） | 16 | 4 | |
| 合 計 | 43 | 22 | |